

| 科目名 建築計画Ⅰ | | | | | |
|--|---|---|---------|------|------|
| 担当教員 | 丸戸 久美子 | | 実務経験の有無 | | |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を理解や体験を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、準備、寸法、生活にもよつた設計の考え方的重要性を学ぶ。 2. 各件と権利に對した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 課題-ホラステ-製図-製図を繰り返すことで重要性を理解する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 建築物の権利から、平面計画を学び、建築設計に必要な知識を習得する。また、授業では他の専攻試験範囲にある科目のため、各時点に達する学習状況を確認する。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 全図解 やさしい建築計画 (学芸出版社) | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 | | | |
| 1 | 建築計画の基本的知識-1 ①準備寸法 - 建図や使用される長さ及び面積の単位 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 2 | 建築計画の基本的知識-2 ①人権寸法と製作寸法 - 人間工学に基づいて人権寸法と製作寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 3 | 建築計画の基本的知識-3 ①建築計画の進め方 - マニュアルとデザイナーコーディネーション ②建築計画の進め方 - 機能計画 (ゾーニング・ゾーニング) - 機能計画、設備計画、設備-設備計画 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 5 | 各棟および単収空間の計画-1 ①各棟の計画、各棟の種類、寸法計画について - 廊下・脱・屋根の種類、階段・スロープの寸法と勾配 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 6 | 各棟および単収空間の計画-2 ①単収空間の計画 - 廊下・脱・屋根、各々の寸法計画 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 7 | ホラステ① | 課題①-①から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-①を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 8 | 高層部・高層部に對した建築計画-1 ①ユニバーサルデザインと建築計画 - ノーマライゼーションの考え方とユニバーサルデザイン | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 9 | 高層部・高層部に對した建築計画-2 ①バリアフリー化の要素 - 車イス利用の通行空間・設備の必要寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 10 | 居住環境に對した建築計画 ①地域可能性、環境に對した計画の概念 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 11 | ホラステ② | 課題①-②から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-②を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | 履修上の注意 | | | |
| 期末試験-ホラステ-授業態度を総合的に評価します。 期末試験70%、ホラステ20%、授業態度10% 成績評価基準は、80%以上・80%未満・70%以上・70%未満・60%以上・60%未満とします。 | | 前期授業に必要な知識として前期履修科目を履修した上で、後期-1履修を促す。また、定期的にホラステを行い学習状況を確認する。また、履修したことで履修が完了したことを確認する。履修が完了した上で、各棟の計画の進め方について、十分な理解を行う。 | | | |
| 履修目標達成の状況 | | | | | |

| 科目名 建築計画Ⅰ | | | | | |
|--|---|---|---------|------|------|
| 担当教員 | 丸戸 久美子 | | 実務経験の有無 | | |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 建築物の基本的な設計の考え方、計画の進め方を理解や体験を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、準備、寸法、生活にもよつた設計の考え方的重要性を学ぶ。 2. 各件と権利に對した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 課題-ホラステ-製図-製図を繰り返すことで重要性を理解する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 建築物の権利から、平面計画を学び、建築設計に必要な知識を習得する。また、授業では他の専攻試験範囲にある科目のため、各時点に達する学習状況を確認する。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 全図解 やさしい建築計画 (学芸出版社) | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 | | | |
| 1 | 建築計画の基本的知識-1 ①準備寸法 - 建図や使用される長さ及び面積の単位 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 2 | 建築計画の基本的知識-2 ①人権寸法と製作寸法 - 人間工学に基づいて人権寸法と製作寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 3 | 建築計画の基本的知識-3 ①建築計画の進め方 - マニュアルとデザイナーコーディネーション ②建築計画の進め方 - 機能計画 (ゾーニング・ゾーニング) - 機能計画、設備計画、設備-設備計画 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 4 | 各棟および単収空間の計画-1 ①各棟の計画、各棟の種類、寸法計画について - 廊下・脱・屋根の種類、階段・スロープの寸法と勾配 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 5 | 各棟および単収空間の計画-2 ①単収空間の計画 - 廊下・脱・屋根、各々の寸法計画 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 6 | 各棟および単収空間の計画 (単収空間の計画) | 単収空間の種類-寸法計画について学ぶ。 廊下・脱・屋根、各々の寸法計画について学ぶ。 | | | |
| 7 | ホラステ① | 課題①-①から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-①を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 8 | 高層部・高層部に對した建築計画-1 ①ユニバーサルデザインと建築計画 - ノーマライゼーションの考え方とユニバーサルデザイン | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 9 | 高層部・高層部に對した建築計画-2 ①バリアフリー化の要素 - 車イス利用の通行空間・設備の必要寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 10 | 居住環境に對した建築計画 ①地域可能性、環境に對した計画の概念 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 11 | ホラステ② | 課題①-②から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-②を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | 履修上の注意 | | | |
| 期末試験-ホラステ-授業態度を総合的に評価します。 期末試験70%、ホラステ20%、授業態度10% 成績評価基準は、80%以上・80%未満・70%以上・70%未満・60%以上・60%未満とします。 | | 前期授業に必要な知識として前期履修科目を履修した上で、後期-1履修を促す。また、定期的にホラステを行い学習状況を確認する。また、履修したことで履修が完了したことを確認する。履修が完了した上で、各棟の計画の進め方について、十分な理解を行う。 | | | |
| 履修目標達成の状況 | | | | | |

| 科目名 建築計画Ⅱ | | | | | |
|--|--|---|---------|------|------|
| 担当教員 | 丸谷 貴子 | | 実務経験の有無 | | |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 前期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 1. 居住や商業施設の建築計画、考え方、計画の進め方を理解や体験を通して学ぶ。 2. 建築計画に必要な、準備、寸法、生活にもよつた設計の考え方的重要性を学ぶ。 3. 各件と権利に對した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 課題-ホラステ-製図-製図を繰り返すことで重要性を理解する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 1. 居住や商業施設の、建築計画 (機能計画-動線計画-平面計画-断面計画-設備計画-内装) を学び建築物の権利から建築設計に必要な知識を習得する。また、授業では他の専攻試験範囲にある科目のため、各時点に達する学習状況を確認する。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 全図解 やさしい建築計画 (学芸出版社) 建築図解 | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 | | | |
| 1 | 建築計画の概要 | | | | |
| 2 | 1. 建築-1. 建築 ①建築の概要 ②断面-断面計画と必要設備 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 3 | 2. 断面-2. 断面 ①断面の概要 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 4 | ホラステ① | 課題①-①から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-①を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 5 | 3. 断面-3. 断面 ①必要設備の断面計画と断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 6 | 4. 断面-4. 断面 ①断面の概要、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 7 | ホラステ② | 課題①-②から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-②を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 8 | 5. 断面-5. 断面 ①断面の概要、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 9 | 6. 断面-6. 断面 ①断面の概要、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：教科書①の学習 | | | |
| 10 | ホラステ③ | 課題①-③から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-③を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 11 | 7. 断面-7. 断面 ①断面の概要、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 課題①-④から個別に理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-④を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | 履修上の注意 | | | |
| ホラステ-授業態度-期末試験-準備④を総合して評価します。 ホラステ20%、授業態度20%、期末試験20%、準備④-10% 成績評価基準は、80%以上・80%未満・70%以上・70%未満・60%以上・60%未満とします。 | | 前期授業に必要な知識として前期履修科目を履修した上で、後期-1履修を促す。また、定期的にホラステを行い学習状況を確認する。また、履修したことで履修が完了したことを確認する。履修が完了した上で、各棟の計画の進め方について、十分な理解を行う。 | | | |
| 履修目標達成の状況 | | | | | |

| 科目名 建築計画Ⅱ | | | | | |
|--|--|---|---------|------|------|
| 担当教員 | 丸谷 貴子 | | 実務経験の有無 | | |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 2 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 単位数 | | 時間数 | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | 1. 居住や商業施設の建築計画、考え方、計画の進め方を理解や体験を通して学ぶ。 2. 建築計画に必要な、準備、寸法、生活にもよつた設計の考え方的重要性を学ぶ。 3. 各件と権利に對した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 課題-ホラステ-製図-製図を繰り返すことで重要性を理解する。 | | | | |
| 学習目標 (到達目標) | 1. 居住や商業施設の、建築計画 (機能計画-動線計画-平面計画-断面計画-設備計画-内装) を学び建築物の権利から建築設計に必要な知識を習得する。また、授業では他の専攻試験範囲にある科目のため、各時点に達する学習状況を確認する。 | | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | 全図解 やさしい建築計画 (学芸出版社) 建築図解 | | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | 学習方法・準備学習・備考 | | | |
| 1 | 1. 建築-1. 建築 ①準備寸法と単位 ②断面-断面 ③断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 2 | 2. 断面-2. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 3 | 3. 断面-3. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 4 | ホラステ① | 課題①-①から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-①を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 5 | 4. 断面-4. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 6 | 5. 断面-5. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 7 | 6. 断面-6. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 8 | 7. 断面-7. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 9 | 8. 断面-8. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 10 | 9. 断面-9. 断面 ①断面の概要、断面寸法、断面寸法、断面寸法 ②断面の概要、断面寸法 | 方法：教科書、資料を使って説明、個別の学習達成目標、課題①-②を履修する 準備学習：課題①-②を履修する | | | |
| 11 | ホラステ② | 課題①-②から個別にホラステで理解度の確認、製図-製図を行う。 準備学習：課題①-②を教科書、プリントなどで復習 | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | 履修上の注意 | | | |
| ホラステ-授業態度-期末試験-準備④を総合して評価します。 ホラステ20%、授業態度20%、期末試験20%、準備④-10% 成績評価基準は、80%以上・80%未満・70%以上・70%未満・60%以上・60%未満とします。 | | 前期授業に必要な知識として前期履修科目を履修した上で、後期-1履修を促す。また、定期的にホラステを行い学習状況を確認する。また、履修したことで履修が完了したことを確認する。履修が完了した上で、各棟の計画の進め方について、十分な理解を行う。 | | | |
| 履修目標達成の状況 | | | | | |